

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年6月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

**2023年6月度ギャラクシー賞月間賞****金曜ナイトドラマ「波よ聞いてくれ」****4月21日～6月9日放送 23:15～24:15 テレビ朝日 メディアミックス・ジャパン**

ひよんなことからラジオパーソナリティになってしまったヒロイン、鼓田ミナレの小気味よいマシンガントークにスカッとした視聴者も多いだろう。小芝風花演じるミナレは一見ぶっ飛んだキャラクターだが、忖度なしに物事の本質にぐいぐいと迫っていく巧みな話術に引き込まれる。虚実を織り交ぜながらラジオというメディアについて本質的に考えさせる構成も見事だった。

**テレメンタリー2023「原爆資料館 閉ざされた40分～検証G7広島サミット～」****6月10日放送 4:50～5:20 広島ホームテレビ**

広島でのG7サミットは成功だったと首相が胸を張り、そのまま報じるメディアも多いなか、為政者たちが原爆資料館の中にとどまった40分間で何がなされたかに焦点をあて、核廃絶を切望してきた地元の人々の受けとめと落胆を率直に伝えた。戦後78年でたどり着いた核保有国との直談判の機会に露わになった、日本の国家としての思惑と核廃絶への想い・願いとの間のズレを明確に描いた番組だった。

**水曜日のダウンタウン「昭和はむちゃくちゃだった系の映像、全部ウソでもZ世代は気付かない説」****6月21日放送 22:00～22:57 TBSテレビ**

昭和 vs Z世代の構図が流行っているが、「その年の干支は食べることが禁止されていた」など、ウソででっちあげた昭和のトンデモ習慣をZ世代がどこまで信じるかという、フェイクを逆手にとりエンターテインメントとした企画が出色。各人が役割を果たし企画を推し進める昭和世代チームの昭和的フォーメーションにも感心した。

**NHKスペシャル「“戦い、そして、死んでいく”～沖縄戦発掘された米軍録音記録～」****6月25日放送 21:00～21:50 日本放送協会**

米軍によって録音された米兵たちの肉声新たに発見された。プロパガンダに利用される以前の貴重な音源を丹念に分析し、日本軍のゲリラ戦に苦しんだ米軍が、精神面の安定を失い、民間人保護という方針を棄てていく姿が時系列で描かれる。録音のリアルな衝撃は、終戦以来、プロパガンダ的に利用され尽くしてきた映像に比べて、さらに生々しい戦争の姿を伝えている。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年9月号に掲載します